

KANAZAWA UNIVERSITY

# DATA'16

データで見る金沢大学 2016

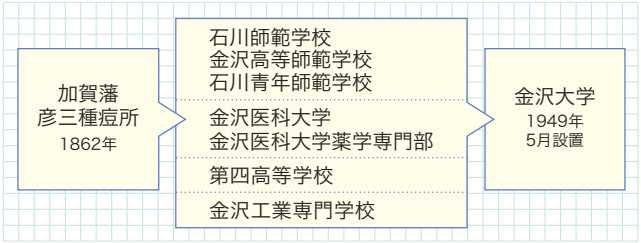
- 1 組織・沿革
- 2 入学状況
- 3 学生数および附属学校園幼児・児童・生徒数
- 4 卒業後の進路
- 5 教育
- 6 研究
- 7 科研費
- 8 産学官連携
- 9 社会貢献
- 10 生涯学習
- 11 国際交流・外国人留学生
- 12 附属図書館・資料館
- 13 附属病院
- 14 収入・支出予算額
- 15 職員数
- 16 キャンパス面積



# 1

## 組織・沿革

歴史と伝統を引き継ぎ、未来へ向けて改革する  
3学域・16学類・6研究科・1研究所の総合大学  
です。



### 3学域・16学類

#### 人間社会学域

人文学類／法学類  
経済学類／学校教育学類  
地域創造学類／国際学類

#### 理工学域

数物科学類／物質化学類  
機械工学類／電子情報学類  
環境デザイン学類  
自然システム学類

#### 医薬保健学域

医学類／薬学類  
創薬科学類／保健学類

国際基幹教育院

附属病院

がん進展制御研究所

附属図書館

学内共同教育研究施設

地域連携推進／学際科学実験／  
総合メディア基盤／環日本海域環境研究／  
環境保全／子どものこころの発達研究  
の各センター

保健管理センター

グローバル人材育成推進機構

新学術創成研究機構

先端科学・イノベーション推進機構

国際機構

学内共同利用施設

極低温研究室／資料館／埋蔵文化財調査センター  
技術支援センター

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

### 大学院6研究科

人間社会環境研究科

自然科学研究科

医薬保健学総合研究科

先進予防医学研究科

法務研究科(法科大学院)

教職実践研究科(教職大学院)

- 金沢大学の起源は1862年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることができ、150年以上の歴史があります。
- さまざまな学校の歴史と伝統を引き継ぎ、1949年5月に新制大学として発足しました。
- 2004年4月、設置者を国から国立大学法人に変え、新たな一歩を踏み出しました。
- 2008年4月、社会の要請に応じた優れた人材の育成と、時代が求める新しい学問領域の開拓を図るため、これまでの教育組織である8学部・25学科・課程を3学域・16学類に再編・統合しました。
- 2014年5月、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に基づき、グローバル社会をリードする人材の育成と、世界に通用する研究拠点の形成を進めるため、「YAMAZAKIプラン2014」を策定しました。

# 2 入学状況

## 地元北陸3県を中心に 全国各地から入学者が集まる総合大学

■入学者の地域別内訳は、北陸3県が50%、関東・甲信越地域が18%、東海地域が18%、近畿地域が7%の順となっています。

全体数

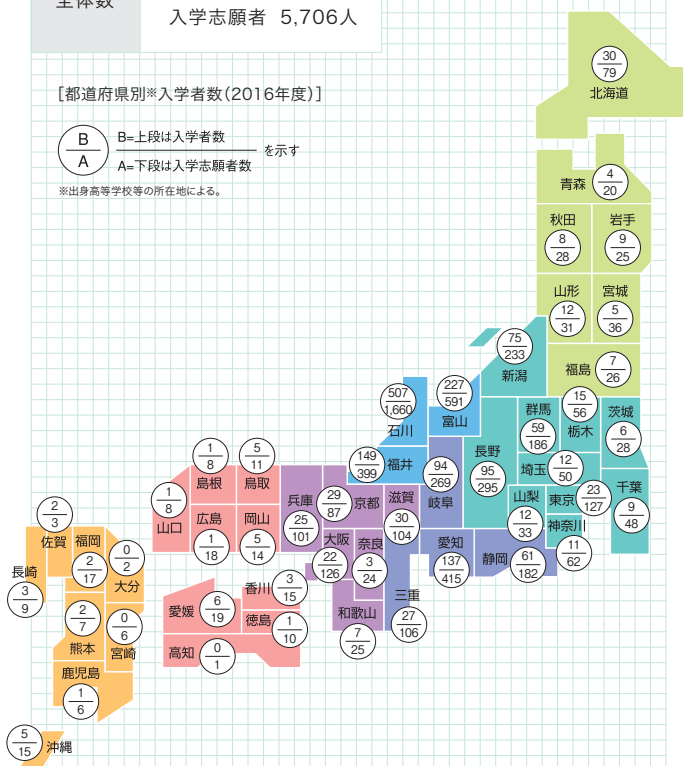
入学者 1,776人

入学志願者 5,706人

【都道府県別※入学者数(2016年度)】

$\frac{B}{A}$  B=上段は入学者数  
A=下段は入学志願者数 を示す

※出身高等学校等の所在地による。



高等学校卒業程度認定試験等合格者  $\frac{4}{24}$

外国の学校等  $\frac{24}{61}$

その他(専修学校の高等課程等)  $\frac{0}{0}$

# 3 学生数

および附属学校園幼児・児童・生徒数

附属学校園を含め

約12,000人の学生が在籍

うち女子学生は4,554人(約38%)

[学域等別学生数]

(単位:人)

学域・学部		学生数	研究科	学生数
人間社会学域	人文学類, 法学類, 経済学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 国際学類	3,272 (1,688:52%)	大学院修士(博士前期)課程	1,279 (307:24%)
理工学域	数物科学類, 物質化学類, 機械工学類, 電子情報学類, 環境デザイン学類, 自然システム学類	2,678 (387:15%)	大学院博士(博士後期)課程	1,017 (307:30%)
医薬保健学域	医学類, 薬学類, 創薬科学類, 保健学類	1,941 (979:50%)	専門職学位課程(法務研究科, 教職実践研究科)	45 (15:33%)
学部 <sup>※</sup>	医学部, 工学部	4 (1:25%)	計	2,341 (629:27%)
計		7,895 (3,055:39%)	その他別科	31 (31:100%)

合計 (収容定員 9,411) 10,267(3,715:36%)

※は従前の組織を示す。( )内の数値は女子学生の人数および割合です。

■附属学校園幼児・児童・生徒数は、幼稚園120人、小学校663人、中学校474人、高等学校377人、特別支援学校57人の計1,691人です。

[附属学校園在籍者数]

(単位:人)

学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	120(58:48%)	高等学校	377(182:48%)
小学校	663(339:51%)	特別支援学校	57(23:40%)
中学校	474(237:50%)		

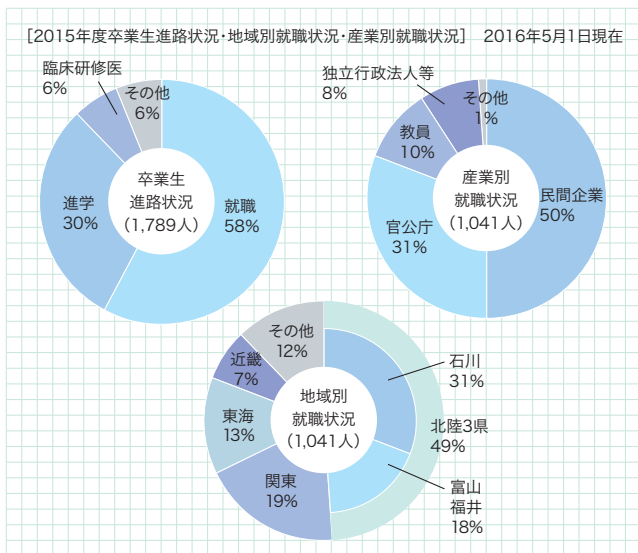
合計 1,691(839:50%)

( )内の数値は女子児童・生徒の人数および割合です。

# 4 卒業後の進路

学域・学部卒業者の約30%が進学  
理工学域においては約63%が進学

- 学域・学部卒業生の累計は、87,676人に達し、社会の各方面で活躍しています。
- 2015年度学域・学部卒業生(1,789人)の約30%が大学院等へ進学。
- 就職者の31%が官公庁に就職。就職エリアは北陸3県が49%でトップ(石川県31%)。



## 官公庁へ多くの人材を輩出

- 金沢大学では、就職支援室が中心となって、就職指導・支援の充実を図るとともに、大学生協とタイアップして公務員試験対策講座を開講するなど、合格に向けた支援の強化を図っています。
- その成果として、地方公務員試験合格者数は全国の大学の中で常に上位にあり、難易度がそれに類する国家公務員一般職試験で、2015年度は行政134人、技術系29人、計163人が合格(国立大学で全国2位)。また、同年度の国家公務員総合職試験に8人が合格するなど、難関と言われる国家試験でも健闘しています。

(朝日新聞社「大学ランキング2017」に基づく順位)

# 5 教育

## 本当に学びたいものが学べる学士教育

- 「学類」という枠組みで入学した学生は、そこで学びの基礎を固めつつ、自分が本当にやりたいテーマを探することができます。
- 「経過選択制」により、基礎基本を学びながらじっくりと自分のテーマを選ぶことができます。
- それぞれの学域・学類における共通科目を「学域GS科目」「学類共通科目」として整備。学びの核をつくるとともに「主専攻」「副専攻」を用意。これにより学際的、横断的な学びが可能です。

## 本学の特色ある取り組み

- 本学が育成する人材の具体的な姿を表した「金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)」を制定。世界で活躍する「金沢大学ブランド」人材を育成します。
- KUGSを基軸とした学士教育の基盤となるGS(Global Standard)科目とGS言語科目を中心とする体系的なカリキュラムを実施。加えて、導入科目、基礎科目、初習言語科目などの授業を開講し、大学の教育全体の基盤となる知識・技能および教養や、幅広い専門外の知識や現代的な教養を養成しています。
- 国際基幹教育院を平成28年4月に設置。学士課程から大学院課程における教育の基盤をなす教養的教育(基幹教育)を強く推進することで、本学の教育全体の高度化と国際化を牽引します。

## さまざまな学生支援を展開

- 学習・履修方法やコース選択などについて、一人一人に親身な指導を行うアドバイス教員を配置。
- 履修と大学生活に必要な情報が網羅されている「アカンサスポータル」、学習の記録や履歴を見ることができる「学習ポートフォリオ・システム」やe-ラーニングと呼ばれる講義など、ICTを活用した自学自習を行う環境を整備。

## 学位授与数は全国15位

[2014年度大学別学位(課程博士)授与者ランキング]

順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数
1	東京大	1,316	8	早稲田大	486	15	金沢大	212
2	京都大	871	9	筑波大	431	16	東京医科歯科大	200
3	大阪大	714	10	東京工業大	335	17	岡山大	197
4	東北大	575	11	広島大	291	18	慶應義塾大	191
5	九州大	561	12	千葉大	274	19	日本大	168
6	名古屋大	514	13	神戸大	265	20	一橋大	136
7	北海道大	503	14	中央大	235			

# 6 研究

## 学術論文被引用数, 国内22位 薬学・毒性学分野では国内7位 臨床医学分野では同12位

■大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つとして「学術論文」の被引用数があります。トムソン・ロイター社「Essential Science Indicators<sup>SM</sup>」データベースによれば, 2005年1月～2015年12月の11年間の論文被引用数は, 金沢大学は国内で22位, 世界646位にランクされています。

■分野別では, 薬学・毒性学分野で国内7位など, 高度な研究力を有する教育重視の研究大学です。

[日本の論文の引用動向 2005.1-2015.12 日本の研究機関ランキング]  
【①全分野(ALL FIELDS) 5,902機関】(論文被引用数で上位1%に含まれる機関数)

国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数
1	35	東京大学	96,536	1,505,820	15.60
2	70	京都大学	71,597	1,025,360	14.32
3	108	(国研)科学技術振興機構	35,064	831,625	23.72
4	112	大阪大学	57,999	815,197	14.06
5	137	東北大学	55,220	693,660	12.56
6	172	(国研)理化学研究所	29,424	591,318	20.10
7	210	名古屋大学	38,741	505,214	13.04
8	233	(国研)産業技術総合研究所	29,639	452,607	15.27
9	240	九州大学	39,561	444,995	11.25
10	263	北海道大学	37,852	422,159	11.15
11	291	東京工業大学	28,563	386,523	13.53
12	370	筑波大学	24,494	305,439	12.47
13	434	慶應義塾大学	21,998	247,172	11.24
14	438	広島大学	20,923	245,961	11.76
15	444	(共)自然科学研究機構	13,804	241,098	17.47
16	451	(国研)物質・材料研究機構	15,011	237,271	15.81
17	479	岡山大学	18,785	217,742	11.59
18	514	神戸大学	17,754	199,268	11.22
19	534	千葉大学	17,123	188,789	11.03
20	584	東京医科歯科大学	12,359	170,727	13.81
21	636	早稲田大学	13,157	153,005	11.63
22	646	金沢大学	13,378	150,554	11.25

○トムソン・ロイター社「Essential Science Indicators<sup>SM</sup>」データベースを基に作成。  
(世界順位等の情報は上記データベースから転記。それ以外は先端科学・イノベーション推進機構調べ)

○データは, 2005年1月～2015年12月の11年間の論文被引用数等に係るデータ。

○本ランキングは大学のみならず研究所や企業などの研究機関も含んだ研究機関ランキングであり, 大学ランキングではない。

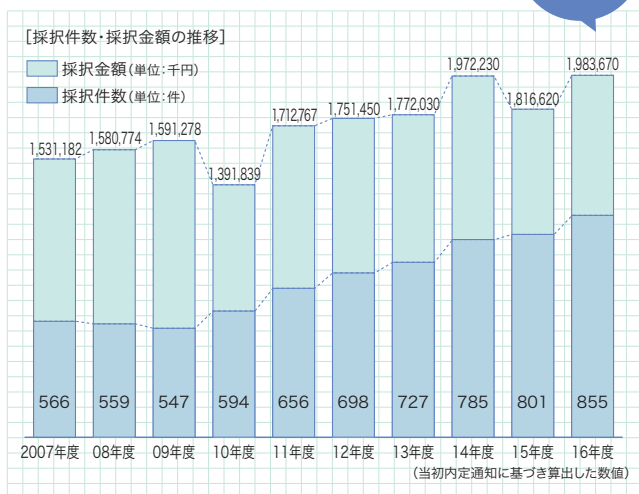
# 7 科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」の新規採択件数は全国で**17位**(2015年度)

■ 科研費の2016年度国の助成額は**2,343億円**で、前年度に比べて**25億円**増加しています。

- ・採択件数**855件** ※2016年度 新規+継続合計
- ・採択金額**19億8,367万円**

採択金額  
10年間で  
**30%増**



■ 2015年度, 新規採択件数は全国で**17位**

[2015年度科研費 採択件数ランキング(新規採択分)]

順位	大学・機関名	件数	新規採択率	順位	大学・機関名	件数	新規採択率	順位	大学・機関名	件数	新規採択率
1	東京大学	1,461	37.4%	8	筑波大学	420	29.4%	15	岡山大学	314	28.3%
2	京都大学	1,115	36.4%	9	神戸大学	394	31.3%	16	千葉大学	308	33.5%
3	大阪大学	1,013	35.1%	10	慶應義塾大学	379	36.1%	17	金沢大学	285	27.3%
4	東北大学	941	32.6%	11	広島大学	356	30.8%	18	東京医科歯科大学	271	29.9%
5	九州大学	727	31.0%	12	早稲田大学	342	31.6%	19	新潟大学	268	28.8%
6	名古屋大学	673	34.0%	13	東京工業大学	335	32.9%	20	長崎大学	233	27.0%
7	北海道大学	584	29.7%	14	(国研)理化学研究所	324	27.9%				

注) 文部科学省「平成27年度科研費助成事業の配分について」より

注) 研究代表者の所属する大学等により整理している。

■ 金沢大学では、応募書類作成のための説明会を開くなど、科研費の一層の獲得増をめざしています。



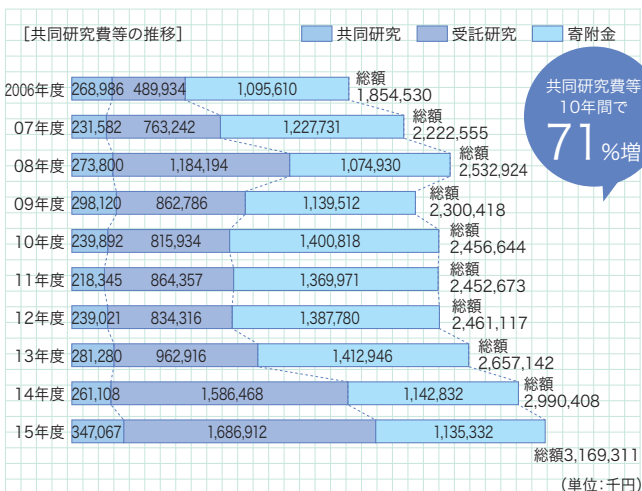
# 8 産学官連携

金沢大学では「先端科学・イノベーション推進機構」を窓口として、産業界との連携を図るため、共同研究、受託研究を推進しています。

- 2015年度の共同研究・受託研究の合計件数は469件で、10年前に比べて66%増えています。
- 2014年度の民間企業との共同研究は、全国の国公私立大学の中では、件数別で22位です。(文部科学省「2014年度大学等における産学連携等実施状況調査」より)

## 共同研究費等は10年間で71%増。

- 金沢大学における2015年度の共同研究、受託研究、寄附金を合わせた金額は、31億6,931万円となっており、産学官連携による資金の獲得を積極的に図っています。



## 2014年度における

特許権実施等件数は224件で 全国**15**位，  
特許権実施等収入は3,599万円で 全国**9**位

(文部科学省「2014年度大学等における産学連携等実施状況調査」に基づく順位)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
特許権実施等件数(件)	129	202	233	224	245
特許権実施等収入(千円)	14,314	32,822	27,225	35,987	22,957

# 9 社会貢献

地域・社会とともにある大学をめざし  
積極的な社会貢献活動を展開

■ **11**の自治体と連携協定を締結。  
大学の人材や知的財産を地域の活性化や  
課題解決に生かします。

地域との連携協定状況 ※( )内は協定締結日

- |                  |                  |                     |
|------------------|------------------|---------------------|
| ①石川県(2009.4.23)  | ⑤能登町(2012.7.13)※ | ⑨小松市(2012.1.26)     |
| ②輪島市(2012.7.13)※ | ⑥七尾市(2012.5.23)  | ⑩富山県南砺市(2014.12.18) |
| ③珠洲市(2012.7.13)※ | ⑦金沢市(2009.3.27)  | ⑪白山市(2015.10.17)    |
| ④穴水町(2012.7.13)※ | ⑧能美市(2011.7.26)  |                     |

※②-⑤については石川県立大学、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町の1大学4自治体との地域づくり連携協定を締結しています。

■ これまでに**127**人の里山里海マイスターを輩出。  
里海・里山プロジェクトで地域人材の養成に  
取り組んでいます。

## 能登里山里海マイスター 育成プログラム

過疎化が進行する能登半島の活性化をめざし、石川県、奥能登2市2町および地元企業と連携し、環境配慮型の農林水産業を志す若い世代を「里山里海マイスター」として育成するプログラム。

## 能登里山里海研究部門(珠洲市)

珠洲市からの寄附により、里山里海研究を基盤として地域の人材養成など地域活性化につながる事業を実施します。



プロジェクトの拠点「能登学舎」  
(珠洲市・旧小泊小学校)

## フィリピンイフガオマイスター養成事業

(JICA草の根技術協力)

世界遺産「イフガオの棚田」の持続的発展を担う人材養成プログラムの構築のために、金沢大学の能登における人材育成のノウハウを活用します。

■ 約**74**haの広大な里山ゾーンを地域に公開。  
築**300**年の古民家を移築した「角間の里」は  
大学と地域の人々との交流拠点です。



角間の里山



金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」

角間キャンパスの「里山ゾーン」は、全国の大学の中でも有数の環境資源に恵まれています。この里山ゾーンを地域の住民や学生とともに保全しながら21世紀型の里山活用を検討する組織として「角間里山本部」が設置されています。また、ゾーン内には白山麓旧白峰村にあった築300年の豪農民家を移築した金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」があり、金沢大学の社会貢献の基地として、また、地域住民の多様な生涯学習の場として活用されています。

# 10 生涯学習

開かれた大学づくりにより  
2,185人の生涯学習をお手伝い

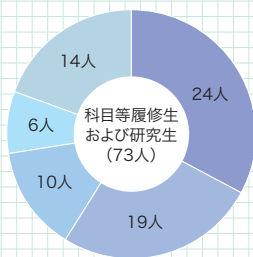
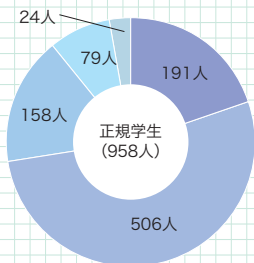
1,031人の社会人学生を受け入れています。

- 社会人学生が学びやすい環境を整えるため、土日・夜間に講義・研究指導を受けられる特例措置や、入学から卒業・修了までの履修期間をあらかじめ長く設定できる制度を設けています。

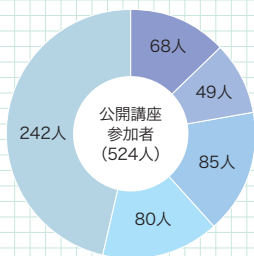
公開講座・ミニ講演には、幅広い年齢の1,154人が参加。

- 金沢大学では、開かれた大学づくりを推進し、行政・関係団体・グループなどと協力し合いながら、地域の人たちの生涯にわたる学習活動のお手伝いをしています。
- 大学が持つ専門知識を生かした取り組みとして、1976年から公開講座を毎年開講。幅広い分野の講座を企画し、一人一人の自発的な学習活動を支援しています。また、地域との交流を深めるために大学の最先端研究を分かりやすく解説するミニ講演の実施など、生涯学習しやすい社会づくりに貢献しています。

[社会人学生の年代別内訳(2016年5月現在)]



[公開講座参加者の年代別内訳(2015年度)]



■ 30代未満  
■ 30代  
■ 40代  
■ 50代  
■ 60代以上

(2015年度)

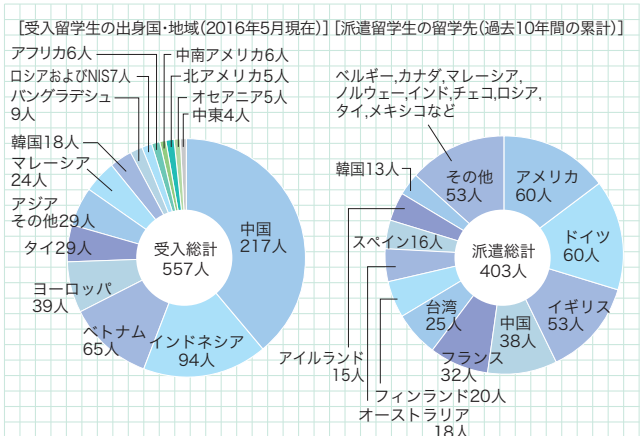
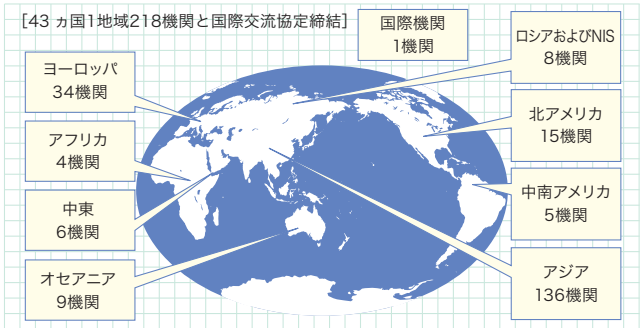
	実施回数	参加者数
公開講座	30回	524人
ミニ講演	12回	630人

# 11

## 国際交流・外国人留学生

環日本海の基幹大学，  
東アジアの**アカデミアの拠点**として，  
世界のトップ大学との交流を積極的に推進

- 金沢大学は、環日本海域の基幹大学、東アジアのアカデミアの拠点として、アメリカ、ヨーロッパ、アジア地域のトップ大学との交流を積極的に推進しており、世界の43カ国、200を超える機関と協定を締結しています。
- 金沢大学で学ぶ外国人留学生は、世界44カ国・地域からの計557人です。うち87%にあたる485人がアジア地域からの留学生です。中でも、中国からの留学生が一番多く、217人を数えます。
- 近年では、毎年約50名の学生が協定校に留学(期間3ヵ月～1年)しています。留学先で多い国は、アメリカ、ドイツ、イギリス、中国です。このほか、アメリカ、ドイツ、フランス、中国の協定校等の短期語学研修プログラムに派遣するなど海外留学を促進しています。

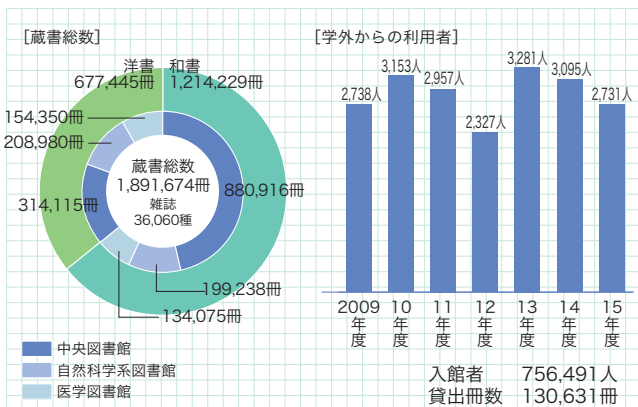


# 12 附属図書館・資料館

蔵書数は**189万冊**。Webサイトで検索も可能。  
電子ジャーナルは**7,600**タイトル以上と充実。

<図書館Webサイト>

<http://library.kanazawa-u.ac.jp/>



- 附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)および医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成され、合わせて年間約76万人の入館者と、13万冊の館外貸出があります。
- 学生が能動的に学び合う空間「ラーニング・コモンズ」と、日本人学生と留学生が日常的に交流できる「国際交流スタジオ/コーナー」を全館に配置しています。
- 県内公共図書館と協力したネットワークを形成し、来館者(北陸3県在住者)に貸出をするほか、公共図書館を窓口とした貸出も行っています。また、平日は午後10時まで開館し、中央図書館では日曜日も開館するなど、一般の方にも積極的に学習の機会を提供しています。
- 金沢大学学術情報リポジトリKURAにより、本学教職員の教育・研究活動の結果として生み出された学術成果(論文や研究データなどのコンテンツ)を電子的な形態で保存し、インターネット上で公開しています。  
<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/>
- 資料館は1989年、金沢大学の角間移転を機に設置され、文化史、自然史、科学技術史にわたる「学術標本」や「金沢大学史料」を収集・保存し、公開しています。主なコレクションとして、加賀藩藩校「明倫堂」「経武館」の扁額、第四高等学校の物理実験機器、著名な宗教家暁烏敏の陶磁器コレクションなどを所蔵しています。また、学内外の皆さまに広く大学史を知っていただけるように、特別展や企画展を開催しています。なお、2016年4月に文部科学大臣から「博物館相当施設」の指定を受けました。

収蔵資料総数

約86,000点 (モノ資料 75,000点  
文書資料 11,000点)

入館者数

8,291人

# 13 附属病院

1日平均患者数は2,257人, ベッド数合計838床, 看護師874人を含む合計1,841人のスタッフで手厚い医療・看護を実施

診療科数	35科	ベッド数	838床
診療状況			
外来		入院	
延べ患者数 370,324人	1日平均患者数 1,524.0人	延べ患者数 268,333人	1日平均患者数 733.2人

※外来診療日数243日 ※患者数は2015年度

## 内科・外科部門を中心に, 各臓器別・疾患別に35科の専門診療科

■附属病院は、高度で良質な医療を提供する特定機能病院として、患者のかかりつけ医である地域の病院・診療所、そして保健行政機関、医師会等との地域医療支援ネットワークづくりを進めています。2007年には厚生労働省から「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。石川県の中心的ながん診療機能を担い、地域医療機関等と協力しながら、より良いがん医療を提供しています。

年度	患者数				紹介率	逆紹介率
	初診患者 (休日・夜間を除く)	紹介患者	救急自動車 (初診)	逆紹介患者		
2015年度	14,126人	10,682人	536人	9,051人	79.41%	64.07%

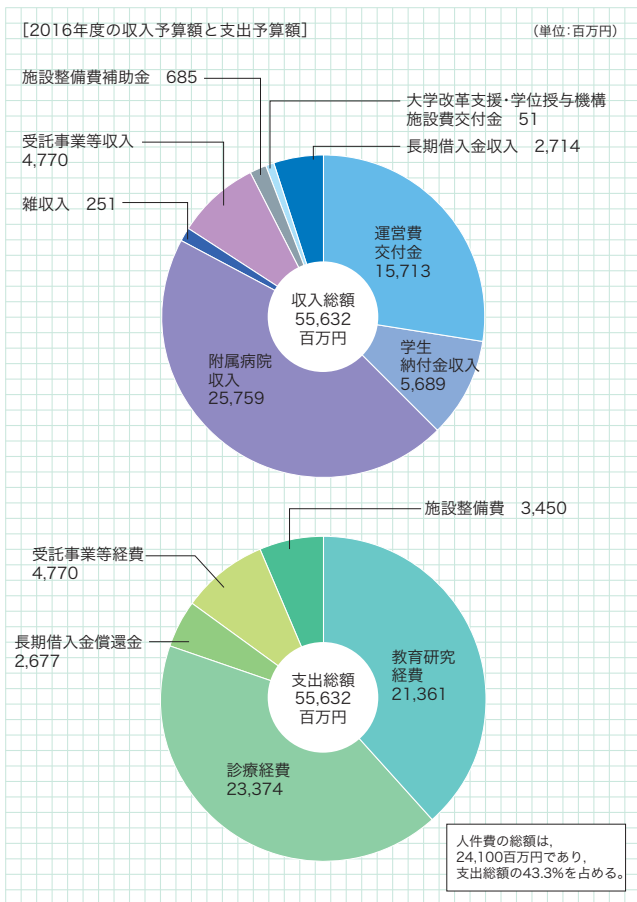
■2011年からは金沢先進医学センターとの連携により、病気の発見にとどまらず、専門医が健康増進や疾病予防のアドバイスを行い、全身をトータルに管理するプレミアムドックを開始しました。

■2013年2月、北陸3県の6大学が、医師主導治験を多施設共同で行うことで国際水準の質の高い臨床研究体制の構築をめざす「北陸臨床研究推進機構」を設立しました。6大学と連携病院で形成した治験・臨床研究ネットワークの中心としての機能を果たしていきます。

■2013年4月には石川県と連携し、TV会議システムやトレーニングシミュレーターを備えた「金大病院CPDセンター」を設置しました。県内における医療人の育成、専門職能力開発、生涯学習の充実および医療レベルの向上を目的としています。

# 14 収入・支出予算額

2016年度予算額は約**556億円**



- 国からの運営費交付金約157億円は、収入予算額の約28%を占めています。
- 金沢大学の予算額を地方自治体の2016年度一般会計予算額と比較してみると、石川県の約1/10、金沢市の約1/3の金額となっています。

[2016年度一般会計当初予算額]

(単位:百万円)

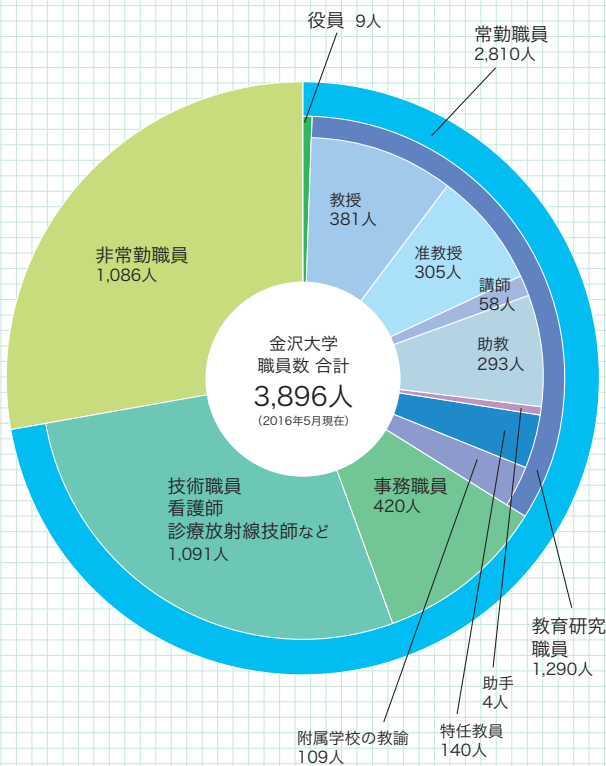
石川県	金沢市
579,730	168,124

自治体のホームページ公表データより

# 15 職員数

2016年5月現在、  
金沢大学で働くスタッフ数は**3,896人**

[金沢大学で働く職員数とその内訳]



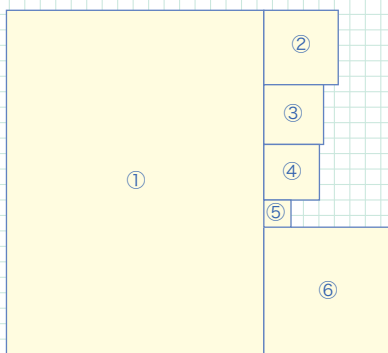
■金沢大学で働くスタッフ数は常勤2,810人、非常勤1,086人、合計3,896人。うち教育研究職員が1,290人で、学生9人につき、教育研究職員が1人つく割合です。



# 16 キャンパス面積

豊かな緑に囲まれた  
ロケーションにある角間キャンパス  
このメインキャンパスをはじめとする  
金沢大学の総面積は、約**267万**m<sup>2</sup>  
東京ドームの約**57**個分

[各キャンパスの面積対比]



①角間キャンパス 2,008,565m<sup>2</sup>  
本部・人間社会学域・理工学域・  
医薬保健学域(薬・創薬)・がん研 ほか

②宝町・鶴間キャンパス 151,053m<sup>2</sup>  
附属病院・医薬保健学域(医・保) ほか

③小立野地区 83,342m<sup>2</sup>

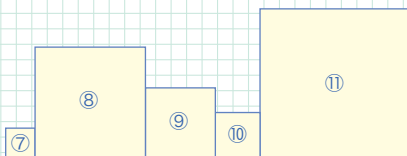
④平和町地区 79,876m<sup>2</sup>  
附属幼・小・中・高

⑤東兼六地区 10,517m<sup>2</sup>  
附属特別支援

⑥その他 333,905m<sup>2</sup>  
臨海実験施設  
辰口共同研修センター  
学生寮・職員宿舎 ほか

①+②+③+④+⑤+⑥  
金沢大学 総面積 2,667,258m<sup>2</sup>

[比較例]



⑦石川県立野球場 20,179m<sup>2</sup>  
⑧金沢城公園(外堀等含む)  
約285,000m<sup>2</sup>

⑨兼六園 114,429m<sup>2</sup>  
⑩東京ドーム 46,755m<sup>2</sup>  
⑪東京ディズニーランド 510,000m<sup>2</sup>



# 金沢大学

KANAZAWA  
UNIVERSITY

編集 / 金沢大学総務部広報室

所在地 / 〒920-1192 石川県金沢市角間町  
tel.076-264-5024 fax.076-234-4015

URL / [www.kanazawa-u.ac.jp/](http://www.kanazawa-u.ac.jp/)

E-mail / [koho@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:koho@adm.kanazawa-u.ac.jp)

※このリーフレットの掲載内容及び最新ニュースなどについては、「金沢大学 Webサイト」でもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、2016年5月1日現在のものです。

